

掃海・輸送ヘリコプター MCH-101(海幕)



乗員	4人(27名搭乗可)	
全長	22.8m(ブレード・パイロン・フォールド時 15.8m)	
全幅	18.6m(ブレード・パイロン・フォールド時 5.6m)	
全高	6.6m(ブレード・パイロン・フォールド時 5.3m)	
キャビン	6.5×2.3×1.8m	
自重	9.9t	[全備重量] 14.6t
最大速度	150ノット(約280km/h)	[巡航速度] 124ノット(約230km/h)
航続距離	約860km	[滞空時間] 約4.3時間
輸送能力	機内搭載 5.7t、機外吊下 3t	
エンジン	名称:ロールスロイス RTM322-02/8×3基 出力:2,150SHP/基	
備考	<p>MH-53Eの後継機種として採用された海上自衛隊の新掃海・輸送ヘリ。アグスタ・ウエストランド社(伊・英)が開発したEH-101を川崎重工がライセンス生産するもので、陸海空自衛隊を通じて、作戦機としては初のヨーロッパ製である。平成15年度から調達を開始、1号機は平成18年3月に引き渡しを受け、第51航空隊で性能試験が行なわれた。将来的には11機が第111航空隊に配備される他、3機がCH-101の名称でS-61の後継として砕氷艦「しらせ」に搭載され、南極輸送支援にあたる予定となっている。前任のMH-53Eの無骨なイメージから一新、非常にスマートで美しい印象の機体である</p>	

[制作] 川崎重工業株式会社

[3機] 254億円